

モモハモグリガ(peach leaf miner)

Lyonetia clerkella (Linnaeus)



葉の被害の様子



葉の裏側にハンモック状の繭が作られる

発生生態

幼虫はモモの葉にもぐり、葉の中身を食べます。

蛹になるときは、葉の外に出て、樹の幹のくぼみや葉の裏側にハンモック状の繭を作り、その中で蛹になります。

蛹で越冬した成虫は4月中旬に発生します。

越冬世代終了後、その次世代成虫の出現は5月中旬です。

防除対策

越冬世代の次世代の幼虫を防除することが重要です。

5月上旬に浸透移行性のある薬剤や、残効性が長い薬剤を使用することが効果的です。

前年に被害が多かった場合や、蛹が多数みられる場合は、10日から14日おきに3回ほど防除を行います。